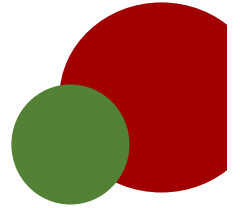


法人案内 2016 年度

一般社団法人

# 全国福祉サービス第三者評価調査者連絡会



## 目的

当法人は、評価調査者の資質の向上を図ることにより、福祉サービス第三者評価の信頼性と有効性を確保し第三者評価の普及をめざすこと、及び全国的な交流をすることによりお互いの知識・経験を学びあい福祉サービス第三者評価の改良・改善を検討し、評価活動の健全な発展に寄与することを目的とする。

## 沿革

2009年9月「第三者評価機関全国連絡協議会（仮称）」設立（NPO 団体）

2012年5月「福祉サービス第三者評価調査者全国ネットワーク」設立（NPO 団体）を経て

2014年2月「一般社団法人全国福祉サービス第三者評価調査者連絡会」設立

# 主な事業

## I. 調査研究

助成金事業等を活用し、福祉サービス第三者評価に関する調査研究を行っています。これまでに実施した調査研究は、以下のとおりです。

2012年度「福祉サービス第三者評価調査者の質の向上に関する調査研究事業」  
〔この調査研究事業において、第1回福祉サービス第三者評価調査者全国研究大会を開催〕

2014年度「福祉サービス第三者評価における受審促進に関する調査研究事業」  
〔厚生労働省、セーフティネット支援対策等事業費補助金（社会福祉推進事業分）〕

2015年度「福祉サービス第三者評価における改善提案に関する調査研究事業」  
〔厚生労働省、生活困窮者就労準備支援事業費等補助金（社会福祉推進事業分）〕

## II. 研修事業

評価調査者の資質の向上を目指す観点から、2016（平成28）年度から研修事業を企画・実施します。

具体的には、講義、シンポジウム、演習形式などによる研修を予定しています。

### 講義・シンポジウム（例）

「福祉サービス第三者評価の現状と課題」  
「保育所版福祉サービス第三者評価基準ガイドラインの概要」  
「社会的養護関係施設第三者評価の現状と課題」  
「標準的な評価手法の理解」  
「福祉サービス第三者評価実践マニュアルの理解」  
など

### 演習（例）

「評価調査者の事前準備・事前分析」  
「訪問調査時の質問作り」  
「評価調査者としてのマナー・倫理」  
「評価結果報告書のコメント作成方法」 など

### その他（例）

「福祉施設・事業所職員と評価調査者との交流研修」  
「福祉サービス第三者評価の受審促進研修」 など

## III. 全国研究大会

全国の評価調査者が集い、実践活動から得た知見を発表・共有する機会として、全国研究大会を年1回開催しています。

### 2015年度の概要

「福祉サービス第三者評価調査者全国研究大会」  
「保育所における福祉サービス第三者評価受審促進研修会」

※東京・大阪・岩手の全国3カ所で実施



## IV. 評価調査者養成研修などへの講師の派遣

評価調査者の資質の向上を図るために、各都道府県福祉サービス第三者評価推進組織・評価機関等からのご依頼に応じ、理事や会員が評価調査者養成研修・継続研修の講師を承ります。今年度は新たに「講師リスト」を作成（予定）し、さまざまな研修ニーズに対応いたします。

### 主な研修領域

「福祉サービス第三者評価調査者養成研修」  
「福祉サービス第三者評価調査者継続研修」  
「第三者評価普及セミナー」  
「施設種別に応じた第三者評価・自己評価の実施方法」 など



## V. 交流・連携

ホームページや全国研究大会などの機会を通じて情報提供に努めるとともに会員相互の交流を促進し、評価調査者の専門性の向上を図っています。

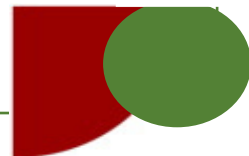
また、福祉サービス第三者評価の普及のために、国および地方公共団体、全国および都道府県推進組織、並びに関係団体との恒常的な連携に取り組んでいます。

### ご挨拶

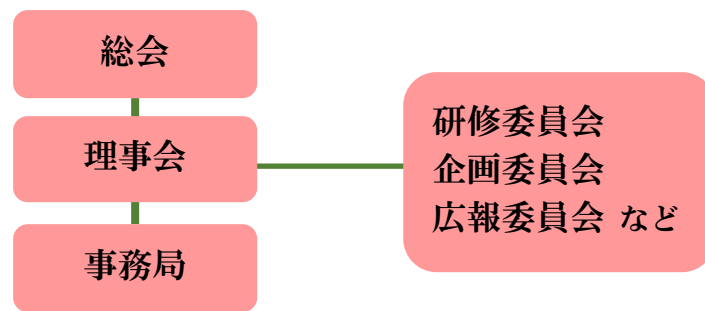
福祉サービス第三者評価事業（以下、「第三者評価」）は、2つの目的を持っています。まず、個々の事業者が事業運営における問題点を把握し、サービスの質の向上に結び付けること、そして、評価結果を公表することにより利用者のサービスの選択に資すること、を目的として制度化され、平成13年5月よりスタートしています。そして平成17年度から全国レベルで本格実施されました。しかし、任意受審の影響を受け、残念ながら受審件数は伸びていません。このような状況の中、平成24年度から社会的養護関係施設においては、3年に1回の受審義務が課され、また保育園では、平成27年度から5年に1回の受審の努力義務化が制度化されています。さらに昨今、社会福祉法人の在り方などに関しては、内閣府や厚生労働省において検討が重ねられ、活動内容の公開による事業の透明性の確保の一つとして第三者評価の受審が推進され、平成28年度は高齢分野においても、サービスのさらなる向上と利用者のサービス選択に資する情報提供を進める観点から、特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、通所介護、訪問介護における第三者評価の受審率の引き上げを目指して「前年度以上の受審率」を目標にするとされました。

私たち評価調査者・評価機関は、第三者評価を受審し、活用して組織体制を改善しながらサービスの質の向上に取り組んでいる事業者と出会い、第三者評価の価値を感じています。一方、受審が進まない理由の一つとして挙げられている、評価機関・評価調査者の力量不足をしっかりと受け止めなければなりません。このような問題意識のもとに第三者評価の促進に寄与すべく全国の仲間たちと交流・連携・学習し、力量を高めることを目的に本会を設立しました。国および地方公共団体、全国及び都道府県推進組織、並びに関係団体との連携を図りながら、本会の各事業を進めて行くことで、日本全体の福祉サービスの質の向上に寄与していきたいと考えております。

会長 新津 ふみ子



## VI. 組織体制



### 役員

- 理事 新津 ふみ子 (一般社団法人全国福祉サービス第三者評価調査者連絡会 会長)
- 理事 右京 昌久 (岩手県社会福祉協議会)
- 理事 奥田 龍人 (特定非営利活動法人シーズネット)
- 理事 叶井 泰幸 (大阪府社会福祉協議会)
- 理事 鳥海 房枝 (特定非営利活動法人メイアイヘルプユー)
- 理事 山下 興一郎 (淑徳大学)
- 理事 岡田 賢宏 (特定非営利活動法人福祉経営ネットワーク)
- 監事 藤井 賢一郎 (上智大学)
- 監事 松山 茂樹 (新潟医療福祉大学・新潟社会福祉士会)

### 所在地

〒141-0031  
東京都品川区西五反田 2-31-9  
シーバード五反田 401  
(特定非営利活動法人メイアイヘルプユー内)  
Tel: 03-6417-3501 (直通)  
Fax: 03-3494-9032  
e-mail: [contact@dai3ren.org](mailto:contact@dai3ren.org)  
URL : <http://www.dai3ren.org/>

